

伊方に住む中学生が選んだ
未来に残したい場所10選

未来に残したい 伊方町

To the future



亀ヶ池 *Kamegaike*

MAP F-19

約400年前に入り江が塞がってできた県内最大の^{せきこ}潟湖で、周囲は約2km、面積は約10.2ha。八畳敷きの大きなカニが住むという伝説が残されており、珍しい動植物が多数生息しています。







瀬戸アグリトピア

Seto Agritopia

MAP G-13

自然と触れ合いながら泊まって学べる体験型学習宿泊施設。サツマイモ掘りなどの農作業、カブトムシやクワガタなどの昆虫採集、星空観察などをしながら、宇和海が一望できるログハウスで宿泊できます。



レジャーはもちろん、
ワーケーションにも◎

Ikata People
Interview



瀬戸アグリトピア 所長
楠本 博貴さん

2階建てを含め10棟あるログハウスからは、宇和海のダイナミックな眺望が満喫できます。特に海上のモヤが晴れる雨降り後は九州まではっきり見渡せ、ずっと眺めていても飽きません。連泊されるお客さまのために体験&学習メニューを年々充実させているほか、レンタサイクルでの自然観察サイクリングやバーベキューも楽しめます。“人は自ら感じて、考えることで成長できる”と思いますが、佐田岬にはそんな場所や機会がたくさんあります。ぜひご家族やグループでご利用ください。

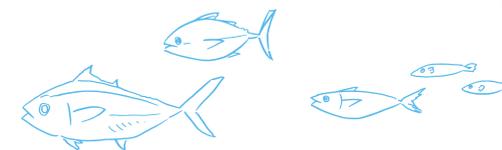


道の駅 伊方きらら館

MAP F-20

Ikata Kirara-kan

宇和海と瀬戸内海の2つの海を一望できる道の駅。魚に素手でエサやりができる「ふれあい水槽」や、部屋全体がバーチャル水族館になっている「きららアクアリウム」があり、家族連れに人気です。



2F



1F



屋上

展望台からの眺望

屋上の展望デッキから宇和海と瀬戸内海の大パノラマを楽しめるほか、3階の「きららリビング」はゆったりくつろげるスペースで、授乳室や親子トイレも完備。

特産品の販売

新鮮な柑橘をはじめジュース、ゼリーなどの柑橘加工品、ひじきなどの海藻類、ちりめん、麦味噌、町の花であるつわぶき加工品などを幅広く販売しています。



1F





佐田岬はなはな

Sadamisaki Hana-Hana **MAP G-8**

佐田岬の魅力がぎゅっと詰まった観光交流拠点施設。観光案内所やレストラン、カフェ、直売所のほか、地域の歴史や文化を紹介するギャラリーを併設。テラス席からは三崎港を発着するフェリーと宇和海、風車が一望できます。



建物は地場産材を利用した木構造と堅牢で安全なRCを組み合わせており、建物内外には佐田岬の文化である「石垣」を取り入れています。



直売所には町内で生産・収穫した海の幸、山の幸をはじめ、佐田岬産の柑橘を使ったジャムやマーマレード、ジュースなどの加工品も充実。



自家製燻製肉のハンバーガー

鼻を抜ける燻製の香りと、食欲をそそる見た目が好評のボリューム満点ハンバーガー。



はなはな丼

しらす、ウニ、イクラ、甘エビなど、新鮮な海の幸を贅沢に盛り付けた人気の一品。



レッドウイング パーク

Redwing Park

MAP F-21

レッドウイング市（米国）との姉妹都市提携を記念して作られた公園。1.7haの広大な敷地には、ネットクライミングやシャクトリトンネル、トリムコースなどの遊具が充実。一番人気は山の斜面にある長さ100m弱のローラー滑り台。



斜面にあるみかん畑

Mikan-batake

海に面した傾斜地には段々畑が作られ、さまざまな柑橘類が栽培されています。中でも清見タンゴールは果肉が柔らかく果汁が豊富で、おいしいと評判です。





佐田岬灯台

Sadamisaki Todai

MAP G-1

佐田岬半島の最先端にそびえる白亜の灯台は、1918 (大正7) 年
4月1日に初点灯されました。当時としては珍しい
鉄筋コンクリート造りで高さは18m。
豊予海峡を行き交う船舶はもち
ろん、晴れた日には九州
まで遠望できます。

360°
View!



スマホで
見よう!



① 椿山展望台モニュメント



佐田岬灯台の少し手前にあるウッドデッキ製の展望台には、ハート型のモニュメント「ラブリング」があり、カップルに人気。

② 永遠の灯



みかごじま
点灯100年を記念して御籠島展望所に設置されたモニュメント。中央部の灯台型の空間から白亜の灯台が浮かび上がります。

③ 海上から見た佐田岬灯台



海上からは海岸付近の景色が一望できるため、陸上からは見ることができない佐田岬灯台のもう一つの表情に出会えます。

④ 砲台



灯台の隣にある御籠島には、戦時中、洞窟式砲台が設置されていました。現在、その跡地には砲台のレプリカが展示されています。



Melody-Line

メロディーライン

“メロディーライン”は佐田岬半島を縦走する国道197号の愛称。約40kmの間に、風の音や海からの潮騒、野鳥のさえずりなど、心地よい音色を楽しみながらドライブやサイクリングが楽しめます。

360°
View!



スマホで
見よう!



路面上を一定の速度で走行すると音楽が流れる「メロディー道路」が3カ所設置されており、「みかんの花咲く丘」などが聴こえてきます。



半島中央部に架かる約200mの堀切大橋は、1610(慶長15)年に当時の藩主が瀬戸内海と宇和海を結ぶ運河の開削を試みた場所。



道の駅 瀬戸農業公園

Seto Agricultural Park

MAP G-17

瀬戸内海と宇和海の眺望をパノラマで楽しめる道の駅。地元産の新鮮な柑橘類や魚介類、野菜、加工品などが購入できるほか、金太郎芋を使ったソフトクリームや地元農産物を使ったシャーベットが人気。伊方町出身の冒険家・河野兵市氏のモニュメントもあります。



広場には白い風車のモニュメントをはじめ、佐田岬半島の形をしたベンチや海をイメージした歩道など、伊方町の魅力がまるごと詰まっています。



石垣のある風景

Ishigaki Sightseeing

急傾斜地の多い海岸部では石垣の上に家や道路が造られています。石の種類や大きさ、形、積み方は地域によって異なるため、半島には趣の違う石垣が点在しており、観光資源として見直されています。



名取の石垣

半島では珍しい石灰岩の地層がある名取地区の石垣には、石灰岩に加えほかの地域との交流を示すさまざまな色の岩石が使われています。

MAP H-9



加周の防風石垣

加周地区にある一宮神社の裏には周囲2kmの亀ヶ池があり、池を渡って吹き付ける強い季節風による被害を防ぐため、石垣が築かれています。

MAP F-19



野坂の石垣

青石(緑色片岩)で築かれた高さ4m、長さ140mの防風石垣は「未来へ残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」(水産庁)に選ばれました。

MAP G-4



愛媛県立三崎高等学校せんたん部

学校から地域へ！三崎高校に通う生徒が、地域の人々と交流を図りながら、地域の課題を発見し、その解決策を考え実践していく活動を行っています。

世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会



2021年5月に八幡浜で開かれた日本大会で、三崎高校の生徒が出品した作品が「アマチュアの部 高校生のマーマレード部門」においてベストカテゴリー賞（最優秀賞）を獲得しました。学校の敷地で育っただいたいと伊方町産のハチミツなどを使い、3年間かけて味を追求した努力が実を結びました。



四国最西端最先端の高校生カフェ「みさこう Cafe」



2020年9月に地元のレストランを借りてオープンしたカフェでは、接客マナーの指導を受けたメンバーが来店客をもてなしました。生徒たちは海水から塩を作り、「どら焼き」や「フレンチトースト」などの甘じょっぱいオリジナルスイーツを開発し、販売しました。

せんたん劇場



2020年2月15・16日、伊方町大久地区を一つの劇場に見立て、生徒と住民が交流を深めるイベント「せんたん劇場」を開催。クリエイターのトークイベントや地元へ伝わる踊りの披露、まち歩きガイドツアーなどを実施し、地域住民を中心に約330人が参加しました。

防潮堤アート



防潮堤により海が見えなくなり、無機質な景色ばかりが増えていく中、アートで地元を盛り上げようと、防潮堤アートプロジェクトがスタート。地元の子どもたちと協力し、佐田岬の夕陽やみかん、灯台などを描いたアート作品が2021年5月に完成しました。

一生懸命やれば、何でもできる！

話しかけが大切だと感じました

多くの方と良い関係が築けました

主催者側の面白さを知りました

お客さまの笑顔が励みになりました

